

## 令和4年度 学校評価アンケート集計結果からの考察

### 【昨年度との比較】

「児童の交友関係は良好である」「児童は規則正しい家庭生活をしている」等の項目が上昇しました。今後とも子どもたちの実態把握に努め、人間形成に必要な教育とは何かを考えて教育活動に取り組んでいきます。

### 【今年度の各項目について】

#### 「5 児童は、学習の基礎基本が身に付いている」

児童の肯定的な意見が、昨年度に比べて減少しています。基礎基本の習得が実感できるように、学習の振り返りを行う必要があります。自らの学びに自信をもって、学習に取り組めるようにしていきます。

#### 「7 児童の交友関係は良好である」

保護者、児童、教職員ともに、昨年度に比べてよい結果となっています。今後とも、家庭と学校が連絡を密にすることにより、児童の実態を情報共有して適切な指導を重ねていきたいと思えます。

#### 「9 学校行事は楽しみである」

保護者、児童ともに、昨年度に比べて肯定的な意見が減少しました。来年度はコロナ対策も緩和する方向で見直すことができそうです。改めて学校行事の運営方法について見直しを図りたいと思えます。

#### 「14 児童は、規則正しい家庭生活をしている」

保護者、児童ともに「だいたいそう思う」が昨年度に比べて増加し、全体で肯定的な意見が80%を超えました。睡眠時間の確保とバランスのよい食事は、健康な体と心を育てます。今後とも続けていきたいと思います。

#### 「20 学校は、教育活動の公開に努めている」

保護者の「そう思う」が昨年度に比べて減少しました。本年度はコロナ禍3年目となり、学校と家庭・地域が交流する機会を中止せざるを得ないことが、昨年度に続き継続していました。来年度は見直しを計り、少しでも多く学校の様子をご覧いただけるよう努めます。

#### 「21 学校は、保護者や地域の声を聞くように努めている」

昨年度に比べて、保護者の「そう思わない」という答えがなくなり、全体的にはよい結果となりましたが、「そう思う」の答えも減少しています。今後とも皆様のご意見をしっかりと受け止めて、よりよい学校づくりを目指します。

#### 「23 先生は、話を聞いてくれる」

全体的に肯定的意見の割合は変わりませんが、児童、教職員ともに「そう思う」の答えが昨年度に比べて減少しています。ゆとりのある学校生活を送ることができるようにし、話を聞く時間が確保できるよう努めていきます。

#### 「25 児童は、読書タイムが楽しみである」

児童、教職員ともに「そう思う」の割合が増加しました。昨年度にも増して、皆が読書に集中し、静かな朝を迎えています。朝は1日のなかでも達成意欲や前向きな気分になりやすい時間帯でもあります。知識を得るだけでなく、勉強への意識を高めるためにも、読書タイムを継続していきます。

### 【ご意見ご要望について】

本校の教育活動に対し貴重なご意見・ご要望をくださりありがとうございました。さまざまな面から励ましのお言葉をたくさんいただきました。寄せられたご意見・ご要望は、今後の活動の見直しの参考にさせていただきます。

(寄せられたご意見・ご要望)

○教育環境について ○学習指導について ○学級経営について ○通学団について  
○就寝時刻の促しについて ○教員の配置について ○配付物について  
※その他たくさんの感謝の言葉をいただきました。ありがとうございました。